

《2020年度 P D C A サイクル実施計画・管理表》

令和3年4月1日 現在

部会名	P 実施計画				実施管理			
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期(予定)	D 実行 区分	C 評価	A 改善	
						実施内容	区分 今後の改善内容(計画)	
北播磨総合医療センター	がん診療におけるチーム医療の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・がん診療チームの更なる整備を推進していく。 ・医師以外の多職種参加を進め、さらなるチーム医療を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より効率的に関連各科、多職種のチームでの関与を促進し、チェック機能を充実させ、がん診療に対する質の向上と安全性を高める。 ・がん診療チームの十分な記録が残せておらず、将来に役立つ記録が残せるシステム構築を行う。 	R03.03	△	<ul style="list-style-type: none"> ・がん診療運営委員会で検討を行い、がん診療チームの提出方法と一括管理を事務局で行うシステムの構築を行った。 ・出席者の記録と症例検討の記録の把握閲覧が可能となった。 ・2月からの電子カルテの更新に伴い、R3年度にExCartを用いたシステム構築と情報共有を行う。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・現在行っているがん診療チームの提出方法・一括管理について問題点と改善策についてがん診療運営委員会で検討を行う。 ・がん診療チームが各診療科や関係する医療者に対して適切かつ有効的にアナウンスされ、参加される体制の取り組みを進める。 ・がん診療チームの記録の電子保存と共有化を進める。
	緩和ケア医療の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・患者・家族、近隣の医療機関、院内医療関係者への周知不足あり。 ・院内での緩和ケアチームへの介入依頼が緩和ケア対象者数に比べて少ない。 ・緩和ケア研修については、直接がん診療に関わるのが少ない診療科においても個別に受講勧奨を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや院内外の広報誌などでの広報を行い周知を図る ・緩和ケア対象者に対する苦痛のスクリーニングを継続し、早期から適切な緩和ケアの提供を行う。また、スクリーニング結果から、緩和ケアが必要な患者の抽出ができるよう、電子カルテから自動的に抽出できるシステムを検討する。 ・NRS8以上の患者については、緩和ケアチームへの報告をしてもらい、緩和ケアチームのメンバーでカンファレンスを行い、検討結果を病棟看護師と共有し、緩和ケアチームへの依頼を促す。 ・医師のための緩和ケア研修の受講勧奨を行い、受講状況を確認した上で、受講していない医師や、診療科の長に対して、個別に書面で受講を促す。 	R03.03	△	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや、院内掲示で、緩和ケア外来や、緩和ケアチームの広報を行い、周知を図った。 ・電子カルテ移行に伴い、苦痛のスクリーニング結果から、緩和ケアが必要な患者を抽出できるシステムを構築、試験実践中である。今後、院内医療者間で共有し、使用する。 ・苦痛のスクリーニング結果で、NRS8以上の症状がある患者については、緩和ケアチーム依頼をもらうことに決定し、院内のシステム変更と周知を図った。その影響もあり、緩和ケアチーム介入件数が130件(前年度比2.3倍)となっている。今後介入による質の評価を行う。 ・今年度は新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、緩和ケア研修会の開催を安全に行えるかどうか、議論を行った。その結果、院内の職員に限定することや人数の制限を行って11月8日に開催した。定員を制限しての開催となったが、目標は達成されたと考える。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケアチームの質の評価を行うために、介入の振り返りカンファレンスを行う。 ・苦痛のスクリーニングの結果から、緩和ケアの提供が必要な患者を早期に抽出し、緩和ケアチーム介入依頼につなげる取り組みがより有効的に行われるようにする。 ・来年度の緩和ケア研修会は新型コロナウイルス感染症の流行の状況に左右されると考えるが可能な範囲で開催を計画する。
	がん相談支援センターの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・両立支援の相談業務の充実、ハローワーク等との連携を図っていく。 ・引き続き、がんサロンの定期開催を継続していく。(毎月第1水曜日[第1水曜日が休日等の場合は第2水曜日]) 	<ul style="list-style-type: none"> ・両立支援相談用のパンフレットの活用を行う。 ・がんサロンを2ヶ月に1回から毎月開催にむけて調整及び広報活動を行う。 ・院内スタッフにむけてアンケート等を行い、がん相談支援センターへの周知を行う。 ・がん相談支援センター相談員基礎研修(1)(2)知識確認コースの受講者の増員を行い、相談員のスキルアップを図る 	R03.03	△	<ul style="list-style-type: none"> ・両立支援コーディネーター研修を2名受講している。両立支援の相談は適宜行っているが、ハローワーク等との連携のケースはなかった。 ・がんサロンは毎月開催について、広報を行い開催を行った。新型コロナウイルス感染症感染状況により、適宜中止とした。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・感染状況を鑑みながら、がんサロンの開催を行っていく。 ・両立支援の相談の充実に向けて、両立支援コーディネーターの受講を行う。 ・がん相談支援センター相談員のスキルアップのために、がん相談支援センター相談員研修(3)の受講を行う。
	AYA世代対応の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・妊孕性に関する連携についての周知不足あり。連携がスムーズにできるための体制の構築が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作成したフローを各診療科に周知し、院内での支援体制を確立する。 ・妊孕性に関する連携がスムーズに行えるよう、研修会の参加・関係機関・病院と連携を行い、体制の構築を行う。 	R03.03	△	<ul style="list-style-type: none"> ・AYA世代の相談対応にむけて、院内での依頼用紙の作成を行い、電子カルテに導入を行い、がん診療運営委員会で周知を行った。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・妊孕性に関する連携がスムーズに行えるように、研修会の参加・関係機関・病院との連携を行う。
	県指定がん診療連携拠点病院としての広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・県指定拠点病院として、安全・安心で質の高いがん診療の推進について継続して広報活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや広報誌などを通じて、当センターの診療実績やがん登録件数などの広報活動を行う。 ・北播磨圏域の医療職を対象として、「がん治療」をテーマとした講演会を実施する。 ・病院フェスタ、外来ミニ講座等を通じ、患者・家族や一般の方々にも適切な「がん診療」について、広報活動を継続して行っていく。 	R03.03	△	<ul style="list-style-type: none"> ・がん診療体制のページに緩和ケア研修修了者等の情報は更新している。がん統計は平成30年度分までUP完了。 ・2/16に院外薬局対象研修会を実施。 ・2/18に放射線治療センター設置記念講演会を実施。 ・新型コロナウイルスのため、今年度は病院フェスタ、ミニ講座等は未実施となったが、R3年度以降は再開に向け継続していく。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・R3年4月1日付のがん総合診療センターの設置にともない、新たにHPを新設する等、継続した当医療センターのがん診療の広報活動を行う。 ・北播磨圏域の医療職を対象として、「がん治療」や「がんのチーム医療」をテーマとした講演会を実施する。 ・院外薬局を対象とした研修会を実施する。 ・病院フェスタ、外来ミニ講座等を通じ、患者・家族や一般の方々にも適切な「がん診療」について、広報活動を継続して行っていく。
	院内がん登録実務の精度向上	<ul style="list-style-type: none"> ・院内がん登録実務者のレベルアップが課題。 ・予後調査の未実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・院内がん登録実務中級者を複数名取得 ・積極的に研修や実務者ミーティングに参加し、がん登録を取り巻く環境変化に対応する。 ・予後調査体制の構築について先進事例を調査し、推進を図る。 	R03.03	△	<ul style="list-style-type: none"> ・院内がん登録実務中級者に2名合格し、合計3名になった。 ・コロナ禍のため研修には参加できていない。2/2開催のがん登録実務者ミーティングに参加。 ・予後調査体制の構築について、今年度の取り組みはできていない。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に研修や実務者ミーティングに参加し、がん登録を取り巻く環境変化に対応する。 ・予後調査体制の構築について先進事例を調査し、推進を図る。(COVID-19の状況による)

(注)実施管理・区分欄の記入について

○評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。